

昭和53年

8月1日

市報

やまぐち



市報は、家族でまわし読みをし、とじて保存しましょう。

くだものの中の宝石ぶどう、 甘ずっぱい香りにつつまれて

銚銭司地区今宿のぶどうは、8月下旬の出荷をめざして、虫よけ用の袋かけが7月下旬から行われています。

「ぶどう」はくだものの中の宝石といわれていますが、今年は開花期の天候に恵まれ豊作、むらさき色のはりきった房が、店頭にお目見えするのは8月下旬ごろからです。

市内では、仁保と銚銭司がぶどうの産地です

が、銚銭司には40戸の農家が8ヘクタールの畑にぶどう作りをしています。品種はスーパーハンブルグが主で、今年は30トン余りの収穫が見込まれています。

仁保は、40戸の農家が10ヘクタールに7品種のぶどうを植えていますが、種なしぶどうを目標とした新しい品種の植えつけもされています。



▲市民パレードの幕あけにふさわしい 県下各高校女子による新体操、華麗な演技は暑さをわざわざさすわやかさでした。



とまつりに なで参加



▲ワッショイワッショイまつりだ 市内子ども会45団体のみこしはそれぞれアイデアいっぱいのかわいらしいものでした。

◆ふれあいを求めて 山口県庁職員のパレードは、県庁各部毎に、郷土の見直しと心のふれあいを求めるアイデアのみこしで大気炎。

第一回山口県ふるさとまつりは、七月二十二日、午後三時、夏空にさく裂した花火を合図に、三日間の祭りの幕は切っておとされました。まず、国道を、せましとはなやかに行進する市民パレード、アイデア豊かなみこしや山車に、見物の人々の拍手や声援がさかんでした。また市役所前に設けられた二つのステージでは、郷土芸能の披露や、ちびっこ相手のプログラム。さらに交通安全の踊りやパレード。二十四日夜は、ちょうどちん踊りで、にぎやかなファイナーレとなりました。

▼パレードの圧巻時代行列 平安時代から桃山時代までの風俗衣装をつけた豪華な行列、大内弘世やサビエルの姿もみました。



救急車は、屋外などでおきた事故による、傷病者を早く医者に運ぶ使命があります。近頃、救急車で、家庭での急病人を運ぶ要請が多くあります。急病人の場合、なるべく、家族の介添えで別の車で行って下さい。交通事故などによる一刻を争う傷病者の救急にさしつかえると大変ですからご協力下さい。

昭和52年救急出動状況



救急業務にご協力を

() 内は月額

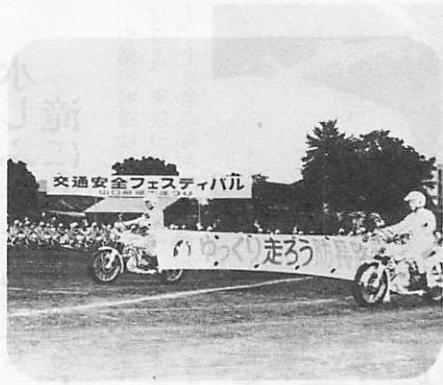
年金の種類		現行年金額	新年金額
拠出年金	5年年金	196,900円 (16,408)	210,100円 (17,508)
	10年年金	269,110 (22,425)	287,100 (23,925)
	25年納付	426,700 (35,558)	455,100 (37,925)
年金	障害年金	1級 541,500 (45,125)	577,600 (48,133)
	2級	433,200 (36,100)	462,100 (38,508)
	母子・準母子・遺児年金 (子等が1人の場合)	433,200 (36,100)	462,100 (38,508)
福祉年金	老齢福祉年金	180,000 (15,000)	198,000 (16,500)
	1級	270,000 (22,500)	297,600 (24,800)
	2級	180,000 (15,000)	198,000 (16,500)
	母子・準母子福祉年金 (子等が1人の場合)	234,000 (19,500)	258,000 (21,500)

国民年金法の一部が改正され
福祉年金(老齢、障害、母子、
準母子年金)が八月分から、拠
出年金は、物価上昇などの経済

変動から、年金を守るために、
物価スライドが本年七月分から
六・七割実施されました。引き
上げ額は別表のとおりです。

福祉年金が八月分から 拠出年金が七月分から

国民年金が増額



▲交通安全はみんなの願い 旧山大経済学部運動場では、県民の交通安全を願つて、婦人会の防長ゆつくり音頭の踊りや白バイパレードなどを行いました。



▲あつまれちびっこ大集合 さわやかステージでは、子どもたちのよろこぶパレード、婦人会の防長ゆつくり音頭の踊りや白バイパレードなどを行いました。暑いので飲みものコーナーは大繁盛。



山口県

ふるさ
みん



▲夜店のたのしさ 祭りといえば夜店がつきもの。子どもたちが大きくなつて、故郷を思い出す心の中には、祭りの夜店がうかぶことでしょう。



10万余個の火のトンネル

山口の三大祭の一
つ、七夕まつりが八月
五日から七日まで、山
口商店街を中心に行わ
れます。

○○ センタービル発二一・三
○○ 天花線▽ 錦鶲の滝発一九・
○○ 市民会館前発二一・三〇
○○ 平川線▽ 平野発一九・〇〇
センタービル発二一・四〇
△朝倉線▽ 朝倉発一九・三〇
センタービル発二一・三五

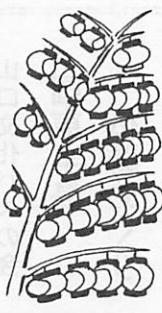
山口のちょうちんたなばたは全国的に珍ら
しい行事といわれ、見
物客も年々増えていま
す。

八月五、六日は短冊
まつり、八月七日はち
ょうちんまつりで午後
七時に、十万余個の紅
ちょうちんに火がとも
され、大市、中市、米
屋町、道場門前商店街
や湯田商店街では、ネオンや街
灯が消されてローソクの火が燃
えつきる午後九時まで火のトン
ネルができます。

△吉敷線▽ 中尾終点発一九・
市営臨時バス
なお、七日は交通規制が行わ
れるほか、市営臨時バス、山口
線に臨時列車が運行されます。
や湯田商店街では、ネオンや街
灯が消されてローソクの火が燃
えつきる午後九時まで火のトン
ネルができます。

○○ 荒高一・道場門前一札の辻間、
駅通り（裁判所）一早間田（千
歳橋）は午後七時から十時まで
車輪通行止めとなります。

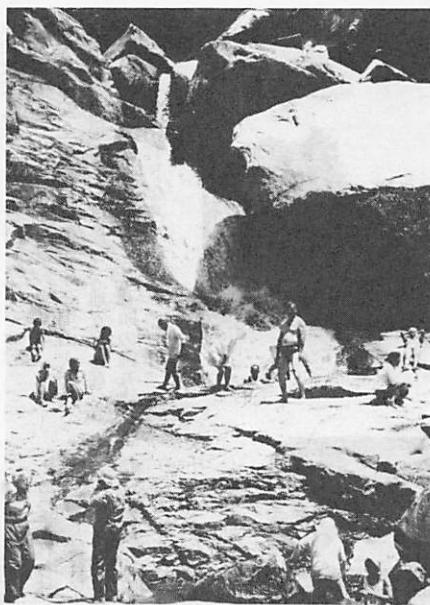
臨時列車



水しぶきをあげて 滝に涼を求める人びと(鳴滝)

小鯉の鳴滝は、土日曜日になると、家族連れでにぎわいます。十数余の高さから落下する

水は、岩はだに当つて飛び散ります。見物の人びとに涼を与えて



わかれ 川の里



秋穂二島長浜の海岸に建ちな
らぶ鉄筋コンクリートの家

台風と白アリに備えて 建物

秋穂二島の長浜は、秋穂湾を眼前に望む海浜で、漁村です。近年、ここに鉄筋コンクリートの近代的な住宅が多く立ちならび、以前の漁村というイメージの家は見られなくなりました。地区の人に伺うと、「ここは海岸で、毎年台風をまともにうけて、屋根瓦が飛んだり、窓が吹きとばされたりしました。それで、台風に強い家を」ということで、瓦屋根でないこのような鉄筋コンクリートで建てるにしました。また海岸で、白蟻が多かったので、そ

鉄筋コンクリートの漁村

秋穂二島の長浜は、秋穂湾を眼前に望む海浜で、漁村です。近年、ここに鉄筋コンクリートの近代的な住宅が多く立ちならび、以前の漁村というイメージの家は見られなくなりました。地区の人に伺うと、「ここは海岸で、毎年台風をまともにうけて、屋根瓦が飛んだり、窓が吹きとばされたりしました。それで、台風に強い家を」ということで、瓦屋根でないこのような鉄筋コンクリートで建てるにしました。また海岸で、白蟻が多かったので、そ

絵を描く気持ちがあると 毎日が楽しみ

「暮しうるおいを」というほど気どった気持ではなく、ただ絵の好きな者が集つて、本格的な絵を習つてみようといふ格好が

「若草アートクラブ」会長さんは赤井寿恵さん、会員は現在女性ばかりで十三人

「小さいお子さんをもつたお母さんなども多く、その方々が毎回の集りに欠席があつたりするのが残念」ということです。が、会員はたいへん熱心で、年一回毎年六月初旬に行う、会の展覧会には会員の力作があつまり、山口の文化行事の一つとして定着しているようです。

女性の油絵研究会

若草アートクラブ

六年ばかり前、中央公民館で行われた油絵入門講座を終了し

た者が、さらに研究をしたいところでもできないが、年に数回日帰りの写生会や、良い展覧会があると、九州や広島へも会員で一緒に見にゆき、新しいものを学んでいるということです。

景色も花も深くみる

「絵を描こう」という気があると、景色を見ても、花を見ても、深く観察するようになって、毎日の行動にも楽しみがあります。」といって、会員のみなさんはよいよはりきつておられます。がんばってください。

。日程 八月二十日(日)二十一日(月)一泊二日(雨天決行)

。出発日時 八月三十日午前

。見学地 八月二十日 関門橋→中津市(福沢諭吉旧居)

→宇佐八幡宮→別府(泊)

。二十一日 国東仏跡めぐり

(熊野磨崖仏・真木大堂・富貴寺)→竹田津フェリー→徳山

。主催 山口文化バスの会

。講師 郷士史家 内田伸氏

。会費 大人一万二千円、小人八千円(昼食代を含む)

。募集人員 九十名

。申し込み 八月十日までに

会費を添えて、山口市葵二丁目市交通局内山口文化バ

スの会事務局(電二一二五五)へ

△4回目▽
山口文化バスの会
国東半島
仏跡めぐり

かくれた善行者
推薦してください

市では毎年「市の規則」に

(7)

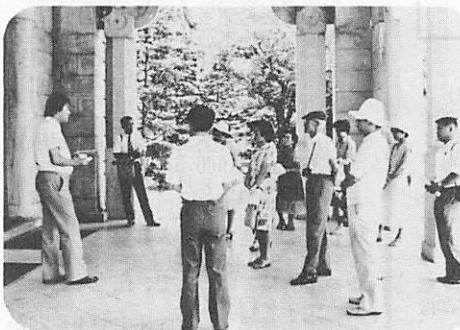


◆古式ゆかしいサギ舞
六百年前から伝えられるサギ舞が七月二十日午後六時
三十分から八坂神社で奉納、多くの参拝人で賑わいまし
た。



▲テントの張り方は……

嘉川地区子ども会キャンプ研修会が7月14日から2日間、江崎グランドで開かれました。小学5年生から中学2年生54名が参加し、炎天下子ども達は野外活動の基本をマスターしようとがんばっていました。



▲明治大正建築の見学

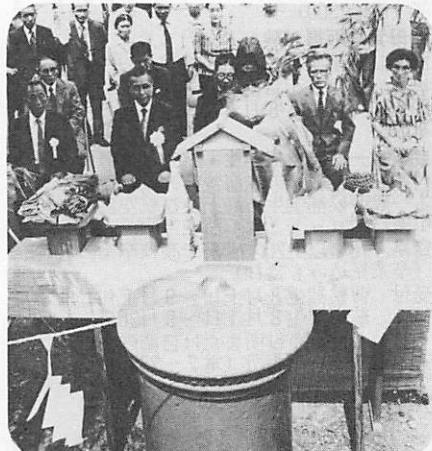
市内の明治大正建築が現在どのように残っているか、そのよさは何かを勉強しようと、7月15日見学会が行われました。県庁本館をはじめ各所の代表的な建物を、松葉一清さんの説明でまわり、これを持たいせつに残したいと話しあいました。

►底辺の拡大をめざして

大内地区で子ども会の指導者と、子ども80人が参加して、7月9日フットベースボールの研修会が行われました。これは正しいルールと実技を身につけて、フットベースボールの底辺をさらに拡大しようというための研修会で、みなは汗にまみれて熱心でした。



カメラ
ラボ



▲66年の風雪にたえて

朝倉の国立湯田温泉病院前の郵便ポストの引退式が、6月26日山口郵便切手売さばき組合の手で行われました。このポストは明治45年以来66年間風雪にたえ、約150万通の郵便物をのみこみがらばったポストでした。

会の進化にともなって、自然に解消するのではないかといふ考え方もあります。しかし、こうした「寝た子をおこすな」「知らない子に知らすな」という考え方は部落差別の解消につながらないばかりか、人権意識を眠らせ、かえつて差別を助長拡大する結果を招いています。

とによって、自由や権利が侵害されるおそれがあるので、「寝た子をおこさないで欲しい」という考え方があります。

このような考え方は、時代の推移や地域の社会状況とそなれぞれの立場によって、いろいろ受けとめ方をされていますが、一般的には次のように考えられます。

「寝た子をおこすな」ではいけない

意見もありました。
しかし勉強のことは自分自身の努力でどんなにでも解決できることですが、同和問題は、個人の努力だけではどうにもならない問題だと思います。やはりみんなで取り組んでいかなければならない問題です。

子どもの教育は大切ですが、親の教育課題として取り上げるべきではないでしょうか。人間は平等であるはずです。現実社会にはさまざまの考え方の人がいて問題が起つてくるのだと思います。同和問題より子ども

う考え方とは、同和地区の人々の中にも、地区外の人々の中にも、今日なお根強く残されています。

このような考え方は、時代の推移や地域の社会状況とそぞれの立場によって、いろいろ受けとめ方をされてい

を取り上げなくとも……」という意見がありました。
私も以前は「寝た子をおこすな」のたとえもあるようすな」といふのだとおもっていましたが、二度三度と同和問題について何も知らないのだから、今さら……と思つていて、現代の子ども達は同和問題について何も知らないのだ

和問題を
考える

学級PTAの学習会で△冬子の日記から▽という学校の授業で取り扱つて作文を読

